



Jun Akitake

秋竹 純 講師

担当教科の特長

「介護領域」分野全般に渡り担当しています。「介護の基本Ⅰ、Ⅱ」「介護過程Ⅰ、Ⅳ」「介護総合演習Ⅰ」「生活支援技術Ⅲ」他、学外での介護実習時は、巡回指導にも携わります。

学生の声

「介護の歴史や背景、その誕生から知ることで、介護福祉士の義務や心構えを学習できた」「介護を行うことへの態度や姿勢などが明確になった」

研究のテーマ

研究課題名 『介護人材育成』『高齢者虐待および不適切なケア防止』『介護倫理』



Yoshifumi Okura

大倉 義文 学科長 教授

担当教科の特長

内科を中心とした「こころとからだのしくみⅠ」「発達と老化の理解Ⅰ」を担当しています。医学的根拠や医療的ケアについても、理解を深められるよう心がけています。

学生の声

「必ず最初に今日のテーマについて黒板で説明して頂くことで、その後の説明が頭に入りやすい。」「難しい内容・体の構造を身近なものに例えて説明してもらるので、頭に入ってきやすい。」

研究のテーマ

研究課題名『脳神経刺激を介する大脳前頭野活性化の解析と認知機能リハビリテーションへの展開』



Naoki Saita

齊田 直樹 講師

担当教科の特長

介護技術をメインとした「生活支援技術Ⅰ、Ⅱ」や「介護過程Ⅱ、Ⅲ」学外実習を中心とした「介護総合演習」等を担当しています。より実践に基づいた授業を心がけています。

学生の声

「多岐に渡る内容について、理解しやすいプリントにより授業が進められており、内容を習得することが出来ました。」

研究のテーマ

研究課題名『介護状態に対応したサルコペニア病態解析と包括的リハビリテーションメニューの構築』



Mihoko Suematsu

末松 美保子 准教授

担当教科の特長

「医療的ケア概論Ⅰ」「医療的ケア概論Ⅱ」「こころとからだのしくみⅡ」「こころとからだのしくみⅢ」「認知症の理解Ⅱ」「介護の基本Ⅳ」「介護実習」「介護総合演習」「コミュニケーションB」を担当しています。介護実践において、根拠をもって介護できる視点を育てることを目標にしています。

学生の声

「これまでの経験を私たちにわかるように話してもらい、「介護における大切な心」までしっかり教えてもらい専門的知識も一緒に身についた。」

研究のテーマ

『介護職員の喀痰吸引等の医療的ケアの継続教育における教育カリキュラムの構築』

専任教員の魅力と特徴を紹介します！
さまざまな資格を持った専任教員が揃っています！



Fumihiro Takase

高瀬 文広 教授

担当教科の特長

「英語とコミュニケーション」「人間関係とコミュニケーション」両方の科目ともにコミュニケーションが付いています。「英語とコミュニケーション」では英語学習ではなく英語という言語の背景にある文化的なものに焦点を当てて、対人コミュニケーションを学びます。また、「人間関係とコミュニケーション」では、将来介護福祉士として活躍するときに必要な、利用者さんや同僚スタッフと良い人間関係を作り、円滑なコミュニケーションが出来るように様々な理論等をアクティビティを通して、学んでいきます。

学生の声

「授業が楽しい」「役に立った」などの感想をもらい、高い評価を受けています。

研究のテーマ

研究課題名『Interpersonal Communication(対人コミュニケーション)・映画等を利用した異文化理解教育』



Masatake Chinen

知念 正剛 特任教授

担当教科の特長

「コミュニケーションA」「福祉と情報処理」インテント、タブキーを利用して、文字の揃え方など基本的な文書作成を練習します。これに加えて、今後利用する可能性のあるプレゼンテーションやコンピュータでのアンケート集計法も実習します。

学生の声

・ルーラーの機能等知らない知識を学べて良かった。
・Wordの使い方など基本的だけど知らない機能を沢山知れて良かった。

研究のテーマ

研究課題名『微量液体での粘度測定法の開発』



Eri Nakazono

中園 栄里 講師

担当教科の特長

栄養学や調理を中心とした「介護と食育」「こころとからだのしくみⅢ」「生活支援技術Ⅰ」「生活支援技術Ⅴ」を担当しています。高齢者や介護が必要な方へ『食』に関する実践的な知識・技術が身につくように心がけています。

学生の声

「覚える内容が多くて大変でしたが、生活に役立つ有意義な内容だと思いました。」「食育の授業はとて為になりました。奥の深さがあり難しいです。」

研究のテーマ

研究課題名『骨粗鬆症性骨折予防のためのビタミンB群による骨質低下の制御と骨強度規定因子の解析』



Miharu Furuno

古野 みはる 講師

担当教科の特長

「人間の尊厳と自立」「社会福祉の法制度」「障害の理解」など、複数の科目を担当しています。特に、支援者として土台となる倫理感を育むことに力を注いでいます。

学生の声

「お話が分かりやすく、また実際の現場のお話はとても勉強になる。」「いつも質問に答えて下さり、また色々な経験を話してください。」「学生が参加、発言する講義は受け身から主体的に変わってためになった。」

研究のテーマ

研究課題名『小規模市町村における市民後見人の育成体制についての研究』

初心をわすれず、介護福祉士を目指します！

2年次 野口 美紗稀さん

私は介護職に興味がありました。又、本学では歯科衛生学科も併設されており、口腔ケアについても学べることを知りました。漸進的な介護福祉士を目指せることにとっても魅力を感じ本学へ入学を決めました。本学では知識だけでなく、技術的な面でも先生方から丁寧に指導していただけるので安心して授業に臨むことができます。将来は初心を忘れず、成長していく介護福祉士を目指します。

介護福祉士になるのが夢でした！

2年次 牛草 諒太さん

在学学生と卒業生からの声を紹介します

人と関わるやりがいのある仕事に就きたいと思い介護福祉士になる決意をしました。

入校までは経済面や勉強面での不安がありましたが、複数の制度を利用し授業に集中できる環境ができたことで不安も解消されました。

熱心でフレンドリーな先生方と新しい仲間達との学校生活は、数十年ぶりに学生に戻った私にとって刺激的なことばかりですが充実しています。

この学校で学んだ事を礎に心の通った介護を目指していきたいと考えています。

この学校に決めて良かった！

2年次 日高 志穂さん

短大卒業後、西南学院大学に編入し、社会福祉士国家資格を取得しました。卒業後は知的障害者施設や母校の就業力支援員として勤務し、現在はあんしん生活支援センターで勤務しています。

地域で暮らす認知症高齢者、知的障害者、精神障害者の方々の日常金銭管理のお手伝いが主な仕事です。ケアマネ、看護師、介護福祉士等様々な職種の方々と連携しながら利用者さんの支援を行なっています。卒業して10年近く経とうとしていますが、福祉の仕事の基礎は福岡医療短期大学で培われたと強く感じています。介護・医療・福祉の知識を講義で学び、また実習を通して様々な体験ができたことは利用者さんとの関係づくりや多職種との連携にとっても活かされています。

平成17年度卒業生 廣田文子さん

私は、介護の仕事とは全く無縁の仕事をしていましたが、縁あって福岡医療短期大学に入学しました。入学して恩師と出会い、また友との出会いも経て、「資格取得の先にあるもの」として、初めて自分自身の可能性を発見することができました。

卒業後、最初にお世話になった実習先のグループホームで勤務し、今は新設されたデイサービスで、勤務経験が浅いながらも、生活相談員及び責任者として勤務しています。加えて、素晴らしい介護の先輩にも巡りあえ、充実した日々を過ごしています。

平成23年度卒業生 三谷 泰さん

卒業後は5年間サンシャインプラザで経験を積み、現在の施設に就職して実習指導者として頑張っています。介護学生さんへの指導は、自分の後輩を育成していくことになり、とても重要な仕事を担っているという実感があります。

また、僕自身社会人経験を経て短大へ入学し、年齢差のある同級生と一緒に過ごすことに最初は不安がありましたが、今となっては楽しい思い出です。また福岡医療短期大学で学んだことが現在も基礎となって日々の介護に役立っていますので、この短大に入ったことは後悔していません。

みなさん、ぜひ有意義な2年間を過ごして下さい。

平成14年度卒業生 川上泰伸さん

編集後記

今回のNo.5 Christmas Season Issue 2015 12は、No.1～No.4までの内容とは一味違う内容にしました。これまで、本学で取得できる「介護福祉士」という国家資格、福岡近郊で唯一本学だけで取得できる「医療的ケア教育」や「口腔ケア教育」、そして介護就職についてのいろいろな問題点等に焦点を合わせて執筆してきました。さて、今回はクリスマスシーズンということもあり、本学のもっと楽しい面について焦点を当てました。本学の教育・事務スタッフの集合写真や専任の先生方のプロフィールとその授業内容、さらには本学の学生や介護の世界で活躍している卒業生の紹介です。読んでいただければ、本学の教育や学園生活が如何に楽しいかお分かりになることと思います。

多職種の特任教員連携し 親身な指導と 介護の実践 支えます！新たな未来の第一歩 頼りになります 講師陣

(保健福祉学科・編集委員 F.T.)